

自然エネルギーへの転換「今しかないとっよ！」

福島第一原発事故の結果、これまでの原子力発電頼みのエネルギー政策から太陽光発電などの自然エネルギー普及へと政策が見直されつつあります。

しかし、全体としては、依然として化石燃料依存のエネルギー供給構造になっていきます。日本の場合、およそ70%がウラン、石油、石炭、天然ガスなどの地下資源に片寄ったいびつな構造です。地下資源はいずれ枯渇しますが、日本は世界でも有数の自然エ

ネルギー大国です。地熱、風力、太陽光、バイオマスなど無尽蔵といってもいいほどの資源に恵まれ、技術力も世界トップレベルです。石炭・石油・天然ガスなど限りある地下資源を発電用にとだけ燃やす。しかも、地球温暖化という新たな問題が引き起こされ、異常気象の原因にもなっています。化石燃料依存を変えるのは、「今しかない」のではないのでしょうか。

太陽光発電実績

年/月	発電量	売電実績	土川自宅での実績 使用電力量
2012年 1月	0.0	0.0	475.0
2月	35.0	0.0	425.0
3月	73.6	18.0	402.0
4月	166.9	75.0	247.0
5月	209.3	150.0	115.0
6月	231.5	169.0	112.0
7月	197.6	151.0	102.0
8月	276.9	224.0	118.0
9月	188.9	140.0	129.0
10月	102.9	88.0	119.0
11月	38.8	29.0	198.0
12月	0.0	0.0	266.0
2013年 1月	10.5	5.0	421.0
2月	27.2	6.0	346.0
3月	134.5	73.0	227.0
4月	174.6	100.0	163.0
5月	256.2	198.0	151.0
6月	244.7	163.0	112.0
7月	171.9	131.0	148.0
8月	214.8	145.0	158.0
9月	159.2	111.0	124.0
10月	78.7	78.0	146.0
合計	2993.7	2054	4704

*2012年1月～2013年10月の年間実績
*太陽光発電パネルは2.56Kwhの設備を使用
*売電価格は1キロワット48円で、再生可能エネルギー買取価格制度に基づいて東北電力へ売電

	発電電力量	売電実績	使用電力量
2012年	1521.4	1044	2708
2013年	1472.3	1010	1996
合計	2993.7	2054	4704

CO2削減実績は2937Kg-C(2005年1月～2013年10月)

日時 11月25日(月) 午後7時～9時
会場 小千谷市「楽集館」3階ホール
演題 スエーデン視察報告 根本聡子(医師)
—教育と環境事業に見る脱原発・脱石油—
スエーデンはチェルノブイリ原発事故で放射能汚染によるダメージを受けました。環境汚染をどのように克服し、難題に立ち向かっているのかについて、現状を報告していただきます。



スカンディナヴィア半島中央に位置する国スエーデン

が稼動中で、エネルギーに占める割合は42%となっています。アメリカのスリーマイル島事故、チェルノブイリ原発での爆発事故を受けて、自然エネルギーへの転換が進んでいますがいまだ稼働中です。現地ではどのような受けとめかたがされているのか、福島以後どのように変化したのか、興味ある報告が聞けるものと思います。

植葉プロジェクトに医療面からアドバイスをいただいた、根本聡子さんがスエーデンの視察ツアーに参加され帰国しました。北欧スエーデンでの環境教育や自治体の取り組み、産業界との連携、市民団体との交流など見ただけで聞きたまっています。報告していただきます。

スエーデン視察報告会の御案内

スエーデンのイエブレボリ県はチェルノブイリ原発事故で特に放射能汚染が深刻だった地域です。スエーデンは10基(940万KWH)の原発